

環境かわら版

ごみゼロ
いちのみや530作戦実施中

No. 13 (2007年5月1日 発行)

緑のカーテン

市内の小・中学校45校で始まる

昨年11月、この「環境かわら版」でもお知らせしたとおり、昨年度、起・葉栗両小学校で「緑のカーテン」作りに取り組んでいた

確認されています。昨年度「緑のカーテン」作りに取り組んだ小学校からは、この取り組み本来の地球温暖化防止の効果

だけではなく、例えば、低学年では「毎朝、アサガオ

だけでした。

「緑のカーテン」とは、アサガオやヘチマ、ゴーヤなどのつる性植物で建物の窓辺や壁面にカーテンを作る、というもので、これにより熱エネルギーの遮断や葉の気孔からの水分蒸散により日差しを和らげてくれるだけではなく、室温の上昇も抑えるほか、騒音の低減効果なども

だけではないか」といった感想も寄せられました。今年度は、この「緑のカーテン」作りにより、市内の小・中学校45校で取り組んでいただいています。

省エネ効果で家計にも優しい「緑のカーテン」、ご家庭でも、ぜひ取り組んでみてください。

の心が咲くのが楽しみ」、高学年では「受粉の実験に役立つ」となどの成果をご報告いただきました。また、指導された葉栗小・尾関先生からは「学習面での成果はもちろんのこと、取り組んだ児童の心も育ったのではないか」といった感想も寄せられました。



楽しく種をまきました～葉栗小学校

子どもと環境“家庭や地域での実践事例募集!!”

実践事例募集!!

詳細は裏面



種は中部電力一宮営業所から

< 回 覧 >

* 裏面もお読みください。

「子どもと環境」

家庭や地域での

実践事例を紹介します

一宮市の小学校では、環境学習の一環として、市の環境センター見学を行っています。毎年、各小学校の4年生が環境センターを訪れ、市のごみ処理の現状など、「環境」に関する学習を深めています。

毎回、見学に訪れる小学生から多くの質問が出され、環境に対する関心の高さが感じられます。

また、見学後には、見学のお礼とともに、自分の家庭で積極的に「ごみの分別を手伝ったり、買い物時には、レジ袋を断ったりするなど、身近な実践例の報告が環境センターに寄せられています。

そこで、このような子どもを中心とした家庭や地域の事務局まで。

域での身近な実践例を、この「環境かわら版」の紙面で紹介していきます。

私たちの環境を守るためには、小さなことでも継続して取り組むことが大切です。子どもを中心とした家庭や地域での小さな実践・取り組みが、私たちの未来・子どもたちの将来を守ります。

皆さんの家庭や地域での実践例をお知らせください。

知らせていただく要領

●資格 市内の子ども

●300字の文字原稿と写真1枚を添えて、事務局まで送って下さい。

●文字原稿は、手直しの場合があります。写真は返却しません。

送付・問い合わせは下記の事務局まで。

「我が家の環境大臣」

登録者募集

マイバックを使用していますか。

依然、家庭ごみに占める容器包装の割合は大きなものとなっています。

4月からは、改正容器包装リサイクル法により事業者は、レジ袋対策に努める必要があります。また、事務局まで申し込みを。



市民は、自分の買い物袋やふるしきを持参し、レジ袋や過剰包装を断るなどの取組が求められています。現在、「我が家の環境大臣」には、市内で566世帯の登録があり、全国でも、「エコファミリー」の環

（わ）が広がっています。只今、新規の登録世帯にマイバックをプレゼントしています。ぜひ、下記の事務局まで申し込みを。

「いちのみやエコ・ウォーク」

登録者募集

一宮市環境基本計画推進協議会では、散歩などの時に、「ごみを拾いながらウォーキングする個人・団体の登録を募集し、平成19年3月1日現在で個人は10世帯で15人、団体は7団体で146人の方に登録していただきました。

この「いちのみやエコ」の登録者が増え、環境保全に対する意識・マナーの向上につながります。そのため、今年度も昨年度に引き続き「いちのみやエコ・ウォーク」の登録者を募集します。

詳しくは、下記の事務局まで。



「野焼き」を

していませんか！

洗濯物に臭いがついて困る、煙で窓も開けられない、臭いや煙で気分が悪くなる。



これらは、市民の方から環境保全課に寄せられた「野焼き」に関する相談の一部です。基準にあつた焼却施設を用いずにごみを焼却する、いわゆる「野焼き」は、一部の例外を除き原則禁止されています。

家庭から出たごみは、正しく分別し、収集日に出してください。

詳しくは、「ごみの分別」については、環境センター（☎45 7004）へ、「野焼き」については、環境保全課（☎45 7185）へお問い合わせください。